



本町のふるさと市場開設グループが宮崎日々新聞社の産業賞を受賞しました。この宮口産業賞は、本年度科学、産業、社会、文化の四部門で優れた功績を挙げた個人、団体に贈られる賞です。受賞したふるさと市場開設グループの代表中野節子さんは、「いろいろ苦労もありましたが今は生き甲斐となつて居る。これからも頑張っていきたい」と語っていました。

**これからも
頑張ります。**

いづくにか父の声きこゆこの古き
大きな家の 秋のゆふべに
牧 水



新教育長に 都甲欣一氏が就任



都甲 欣一氏

渡邊邦彦前教育長の任期満了による退任に伴い、十月一日付けで本町出身の都甲欣一氏が新教育長に任命されました。都甲教育長は県内各地の中学校で教鞭をとられ、延岡市の東海中学校の校長を最後に平成六年に定年退職されています。就任にあたっての感想と決意を綴ってもらいましたので紹介します。

町民の皆さん、はじめまして。前教育長渡邊邦彦先生のご勇退に伴い、十月一日に東郷町教育長に任命されました。どうかよろしく願います。今回、東郷町に居住するのは四年ぶり、職業の関係から約

五十年近くを町外で過ごしました。従って、ふる里に対しては高い関心を寄せてきましたが、東郷町の行政全般にわたっての実情把握が浅く、適切な教育行政を進めていけるかどうか、一抹の不安を抱いておりました。幸いに心に安らぎを持つとともに、気持ちを奮起させられたことで、いくらか安堵感を持つことができたようにあります。その一つは、目に映る豊かな自然、肌を受けるふる里の香り、接して感じる人情にふる里の温かさを覚えたことです。もうひとつは、本町が歌人若山牧水のふる里であることから、牧水の文学的業績について学び、歌に親しむと共に児童・生徒自らが短歌を作り発表する活動が深められていたことです。この、本町内各小・中学校の短歌活動は、特色ある教育活動として大変感心させられました。

安らぎ、安堵感に救われる一方、いくつかの要望をお聞きすると共に、今後への課題も感じられました。

今、子供達に対する教育は学

校・家庭・地域社会の連携が強く求められています。また、現在の日本の社会は激しく変化し、絶えず新しい技術や知識の習得が要求されていることから、生涯にわたって自ら学習し、社会の変化に取り残されない自分自身を育てていくことが大事とされています。即ち、生涯にわたっての学習・生涯学習の実施であり、今後はより充実した学習内容・方法の研究や条件整備を進めていかなければならないと思っています。

教育への新しい波が押し寄せてくようとしているとき、加えていくつかの課題を抱えながらも本町教育の充実・振興が強く望まれているときに、本町教育行政の最たる役職をいただき、その責務の重たさに身の引き締まる思いがいたしております。

二十一世紀を展望した東郷町の教育はどうあるべきか、を模索しながら、教育施策の推進に全力を傾注していきたいと思えます。微力ではありますが、わがふる里への恩返しが出来れば幸いです。与えていただいたことに感謝し、町民の皆さん方のご期待に添うよう努力いたしますので、ご遠慮のないご指導、ご協力を賜りますようお願いいたします。あけてごあいさつとします。

私はこのたび、九月三十日をもちまして東郷町教育長を退職させていただきます。

昭和五十八年九月二日に教育長に就任して以来、十三年と一ヶ月にわたって教育委員会に勤務させていただきました。

この間、町民の皆様には公私ともに大変お世話になりました。心から感謝し厚くお礼を申し上げます。

例えば、昭和二十年、終戦の年の十月に初任教師として坪谷小学校に赴任して一年半勤務、昭和二十二年五月、坪谷中学校が創立されて同校の教師として六年間勤務しましたが、五十一

追記
在職中、毎月発行の町報で、「牧水のうたの解説」を担当してまいりましたが、このたび町の方から引き続き寄稿するようにとのことでありましたので、当分の間続けさせていただきます。どうぞよろしく願います。

退任のごあいさつ 渡邊 邦彦



年間にわたる教職生活最初と最後をこの東郷町で勤めさせていただきましたことを大変ありがたく、また誇りに思っているところでございます。

今後は、数多くの皆さん方からいただいたご厚情を忘れることなく、「二期一会」の言葉を常に念頭において、第二期の人生を送りたいと考えております。今後とも変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

末筆になりましたが、東郷町の益々の発展と町民の皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。お礼のごあいさつとします。

長い間まことにありがとうございました。

「牧水の歌」 大宅多聞展



東郷町総合文化センターの一階ロビーに、大宅多聞氏の書、隣の寅おぢやんに物申す・・・の牧水のうたが掲げられていることはご承知と思います。多聞氏は牧水のうたに強い関心を持っておられ、去る七月、宮崎市のデパートで「牧水のうた」数十点に及ぶ作品の個展も開かれしました。また、先日の牧水祭では十数点の作品をふるさとの家の和室に展示し多くの牧水ファンに鑑賞していただきましたが、そのとき多聞氏は町内各学校に作品を寄贈されました。この作品は、しばらく町総合文化センターに展示していただきましたので、

ご覧いただいた方もあります。十一月二、三日に町の産業文化祭が開催されますので、作品を各学校から拝借して会場に展示し、町民の皆さんに見ていただきたいと思っております。

大宅多聞氏の プロフィール

- 大宅多聞（本名 修）
- 昭和八年宮崎県に生まれる
- 宮崎大学学芸学部卒
- 殿村藍田に師事
- 日展会友
- 日展十九回入選
- 宮崎県文化賞受賞
- 都城市文化賞受賞
- 都城書道協会会長



▲寄贈された多聞氏の「牧水のうた」の書

東郷町 産業文化祭

11月2日(土)・3日(日)



於：東郷町総合グラウンド
中央公民館

ねんりんピック'96宮崎

平成8年11月9日(土)
～11月12日(火)

東郷町では 短歌大会 が開催されます。



平成8年11月10日(日)

- ・午前の部…牧水公園
当日投稿、アトラクション
- ・午後の部…総合文化センター
表彰式、記念講演ほか

※記念講演：佐佐木幸綱氏「旅と酒と歌と」

六年間死亡事故0で表彰を受ける



本町は九月二十日、交通死亡事故ゼロが六年間続いたことから県の交通安全対策推進本部の市町村表彰を受けました。

本町では牧水公園のオーブンや、南郷村の百済の里の整備などから交通量が増え、交通事故の危険性も高まっていますが、事故件数は少しずつではありますが減少傾向にあるようです。表彰式では、町長が表彰状を受け取りましたが、県の交通安全対策監や関係者に対し、「警察や交通安全協会の運動のおかげで事故件数も減少しつつある。この受賞は関係者や町民が一九となった結果だと考えている。今後もこれを機に死亡事故絶滅を目指し努力していきたい。」と話していました。

交通安全表彰

交通事故は被害者になっても加害者になっても大変つらいものです。この六年間死亡事故ゼロの記録がもつと続くよう交通安全に対する意識の高揚をはかっていきたいものです。

平成八年の日向地区交通安全協会会員の交通安全功労者及び運転者の表彰者が決定しました。表彰を受けられた方は次のとおりです。

- 九州管区警察局長賞
高山 博(八重原)
交通栄誉章緑十字銅章
黒木康夫(鶴野内)
県警本部長賞

- 個人
那須浅之(小野田)、木村秋男(小野田)、矢野千歳(坪谷)、富山久美江(坪谷)、沖田和子(羽坂)、鈴原(鶴野内)、中武義和(中之又)
団体
(有)高山産業開発、日吉だんご(有)

秋の交通安全運動

秋の交通安全運動の一環として、本町では、高齢者を対象とし

たバイク講習会や若者と高齢者の交通安全教室などが行われ、交通安全に対する知識や理解を深めていました。



高齢者を対象としたバイク教室

若者と高齢者の交通安全教室



平成8年秋の全国交通安全運動 高齢者と若者の交通安全教室

駐在所だより 親父の責任

先日、館内の巡回連絡で訪れた家で、おばあちゃんが「お巡りさんこのごろの親父はつまらないものですね。」と嘆いておられました。

何故だろうとじっくり話を聞いてみると、「親父は外に出て一生懸命働き、その給料は女が取り上げる。忙しい忙しいと言っている。親父は働けばかりで家にはいないので家族の会話がな。子供が欲しい物はお母さんが金でくれる。そんなことで親父は家が小さいときはそれでもいいが、中学生くらいになるとお母さんでは手が付けられなくなってしまう、親父に言っても親父は黙っているばかり。」ということであった。

なるほど、私にも子供がいてそんなときがあったなあと改めて親父の責任というものを思い知らされました。先進国であるが故に仕事に追いまくられ、働き続け気がついたときは家族の会話が失われていた、ではあまりにも惨めな気がしました。

巡回連絡

受け持ちの警察官が、各家庭を訪問して相談等を聞いた。盗難予防とか事故防止の指導を行ったり、住んでいらっしゃる方や住所を変えたご家族についてお尋ねし、いざ地震等災害時」というときに役立てるために実施している仕事です。



☆九月は今年に入って一番事故の少ない月でした。九月中に交通安全会を四カ所で行い百五十五名が参加し事故防止を誓い合いました。

Table with columns: 発生場所, 9月中, 1月~9月累計. Rows include 鶴野内地区, 福瀬地区, 小野田地区, etc.

(文責:久保)

畜産だより

八・九月期子牛セリ市の本町から出荷分の結果、及び最高額をお知らせします。

Table with columns: 去勢部, 雌部, 最高額. Rows include 追野内佐藤初義, 仲深那須哲男, etc.

Table with columns: 去勢部, 雌部, 最高額. Rows include 庭田黒木幸男, 庭田黒木純男, etc.

第48回宮崎県畜産共進会の結果についてお知らせします。田野 中野朝夫 等賞



9月の終わり、美玲さんという友達の結婚式に出席するために台湾に行きました。美玲さんとは、8年前台湾に留学していた時に知り合いました。その時お互いの言葉はわからなかったのですが、すぐにいい友達になりました。

台湾では日本との貿易が盛んなので、たくさんの方が日本語を勉強します。最近の10年間で台湾の経済は著しく成長し、生活様式もとても近代的で便利になりました。それと同時に台湾は、伝統を重んじる国でもあります。仏教と道教は今でも強い影響力を持っています。

美玲さんの結婚式はとても伝統的な結婚式でした。おもしろい習慣がありましたので紹介したいと思います。

まず、結婚する前には二人の相性を占ってもらいます。また、結婚式の日どりを決めるのにも占い師に見てもらいます。台湾では、太陰暦の7月は不吉な月とされていますので誰も結婚しません。結婚式の前夜花婿の家族は一晩中地方の寺で礼拝します。結婚式の当日花嫁は家族の家を出るとき、家族への愛を表すために涙を流します。しかし、結婚式で泣くのはタブーとされています。そのあと花嫁は車で花婿の家に行きますが、その途中、道でたくさんの爆竹を鳴らします。花婿の家に着くと、家の中にはいるときに足で皿を割ります。その後で寝室に入りベッドのそばの椅子に花婿のスボンをおいて、その上に座ります。これには、「結びつける」という意味があるのだそうです。招待客は寝室に入って「おめでとう」と言います。女の人は最初にベッドをさわってはいけません。もしさわれば花婿の第一子は女の子になって、つわりがひどくなると言われています。また、結婚してから四ヶ月間は、花嫁は他の結婚式と葬式に出席することは出来ません。まだまだたくさんおもしろい習慣があるようですが今回はここまでとします。



結婚式が終わって、みんなで会食をしました。その日は、ロブスター、アワビ、黒い鶏、蟹などたくさんのごちそうをいただき、とても楽しい1日を過ごすことが出来ました。

●●まちのアルバム●●

わがふるさと東郷町

朝、一息ついて目を通す新聞、今日の県北の欄に東郷町の行事等を見付けるとやはりうれしく思います。年に一度の宮崎在住東郷町人会、知らない人も(年代相違)ありますが、東郷町に会いに行くつもりで出席しています。

文化の町東郷町

東郷町は、他の入郷町村に比べて静か、という感じがします。地の理とともに歌人若山牧水の文化の影響でしょうか。牧水賞の選考の事も新聞で読みました。私達が教科書でしか知らなかった若山牧水の心が今、幼稚園、小中学生、大人達に朝夕身近

近況 現在ご主人と二人暮らしですが、余暇を利用して書道や生け花をされるそうです。また、旅行も趣味ということ

- 出身地 鶴野内 下村
- 生年月日 大正13年9月5日
- 実家の現在の世帯主 寺原 栄
- 現在の住所 宮崎市 鶴島



三木 マルエさん (72歳)

ふるさと山陰の思い出

★ふるさとを思い出す★

特にアメリカやヨーロッパ、イスラエルなど海外旅行にも時

折出かけられるそうです。

時は流れ世は移り変わり、科学は進み、人間は飽くことを知らず今では、インターネットで世界の状況を知ることができま

ば学校裏の立山の裾野での野菜拾い、冬になれば冠岳から昇る朝日に暖かいぬくもりを感じ、遠くに見える尾鈴山に雄大な希望と夢を持ったものでした。

なところで接することができ環境を誇りに思うとともに、すばらしい文化遺産として、確実に引き継がれている事実を大切に思う今日この頃です。

秋季ゲートボール大会

9月14日(土)

毎年恒例の秋季ゲートボール大会が、午前10時から町総合グラウンドで行われました。今年は24チームが出場しましたが、百戦錬磨の皆さん方だけあって、どの試合も伯仲したゲームとなりました。接戦をものにして決勝トーナメントに駒を進めたのは、寺迫Bチーム、寺迫Aチーム、田野Aチーム、八重原チームでした。その結果優勝は寺迫Bチーム、準優勝が寺迫Aチーム、三位が田野Aチームとなりました。優勝した寺迫Bチームは、県老人クラブゲートボール大会の出場権を獲得しました。



ねんりんピック参加者にお土産を!

9月18日(休)

町老人クラブ女性部のみなさんが、ねんりんピックの参加者に持って帰ってもらおうと手作りのお土産を作成しています。これは、女性部長の田中富美子さんが中心となって作成しており、東郷町に来町した記念に何か思い出の品をとということから自主的にはじめたものだそうです。参加者の皆さんには、このお土産とともに東郷町でのすばらしい思い出をたくさん作ってほしいものですね。



“女性林研グループ”誕生

9月20日(金)

東郷町女性林研グループの設立総会が森林組合で行われました。出席した会員は、林家の奥さん方を中心に10名でしたが、この中にはフレッシュな二十歳代も含まれています。総会では、今年度の事業計画や今後の活動方針などについて活発な意見交換がなされていました。今年度は、産業文化祭への参加や町内の男性林研グループとの交流、地域に根ざした特産品の加工講習会等を行っていくということです。



原木ミニミニ椎茸栽培 “オーナー園開園”

越表の楠光さんが、宮崎県第1号の「原木ミニミニ椎茸栽培オーナー園」を坪谷の鎌柄と越表の上野呂に開園しました。これは、消費者が植菌された原木20本を購入しオーナーとなり、それを楠さんが二年間管理し(三年目から個人管理)、収穫時期にはそれぞれのオーナーに連絡し、オーナーが収穫するというものです。楠さんは、以前から椎茸栽培に取り組んでいますが、このような消費者との交流、オーナー制の取り組みは初めてのことであり、椎茸生産者の注目を浴びています。興味のある方、希望する方は、直接楠光さんまで連絡して下さい。連絡先 0982-69-7244



短歌 尾鈴短歌会

- 威勢よく縄張り誇示するもすの声とまる小竹に秋風の立つ 橋口 忠孝
- 幼な孫思わず胸に抱きしめて始めましてと頬ずりする 植野 茂樹
- 古船を修理せんと甥っ子の連休つぶしてひたすらにして 木村衣木子
- 空き缶を拾って歩く奉仕の日 奇妙な奉仕呆れたるなり 三浦 園男
- 山襲の黒く縞なす桜島 夏の薩摩路孫らと訪ねし 寺原八重子
- 青い目の猫との暮らし幾久しおまえの祖国いすこと世界地図見る 黒木 ヒサ
- 赤き陽を受けて真白きシンジャのかおりゆらぎて今日もおわりぬ 佐藤 鈴子
- 石ころと呼べる石なく葦繁る 白き河原は遠き幻 小山 貞代
- 隔たれて夜中泣き通す牛の子の親牛寄ればしげく舐め合う 佐藤キヌ子
- 亡びなむ寒川村は村人の心のなかに生きるふる里 東村 吉市
- 供えたる飯柿の葉に包みしを子供ら受けて川まつりをはる 橋口 録司
- 老い行けば作る術なく預けたるわが田を友は減反に当つ 本多 茂雄



ちびっこギャラリー



☆☆☆ 鶴野内保育園 ☆☆☆



▲ 題「秋の虫」

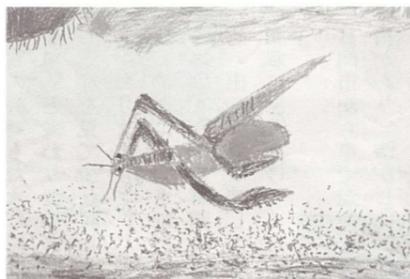
羽坂の
海野健太郎くん(6歳)
父：海野茂実さん
母：テル子さん

- 好きな食べ物は何ですか？
みかん
- 好きな遊びは何ですか？
ブランコ
- 大きくなったら何になりたいですか？
ユニボのうんでんしゅ

鶴野内の

三浦祐弥くん(5歳)
父：三浦辰巳さん
母：映子さん

- 好きな食べ物は何ですか？
ぶどう、かたいかき
- 好きな遊びは何ですか？
砂遊び、ウルトラマン、ティガごっこ
- 大きくなったら何になりたいですか？
ユニボのうんでんしゅ、野球の選手



▲ 題「バッタ」

街の話題

坪谷婦人会バレーボール大会で健闘

9月26日、東白杵婦人バレーボール大会が北川町で開催されました。本町からは、町予選で優勝した坪谷婦人会が出場しました。予選リーグで南郷村、北郷村と対戦して完勝し、決勝トーナメントには北浦町と対戦し接戦をものにし、決勝戦では門川町と対戦し、善戦しましたが惜しくも破れました。しかしながら近年ではなかなか決勝戦に勝ち残れなかったので選手達も結果には満足？していたようです。来年は是非優勝を目指して頑張ってもらいたいものです。



牧水ふるさとクリーン大作戦



十月十二日(土)、坪谷中、坪谷小、越表小学校のそれぞれの青少年健全育成会議が主催して牧水ふるさとクリーン大作戦をくり広げました。

この牧水ふるさとクリーン大作戦は、ねりんピック短歌大会の成功を期して、牧水公園や国道沿線の環境美化に取り組み、地域の連帯・協力、親子のふれあいを高め、郷土を愛し心豊かな生徒の育成をはかることを目的に開催されました。当日は、あいにく朝から雨模様で開催がややぶれましたが、集合時間ちかくなるに薄日が射しはじめ、予定通り午前八時三十分から行われました。青少年健全育成会議の会長さんがいさつをし、活動内容の説明や諸注意が行われた後、早速

東郷中 赤木康太
七月二十七日名古屋空港を出発しました。飛行機で十二時間

イギリス発見の旅



軍手をはめ、火ばさみやゴミ袋を手に空き缶やゴミを拾いをはじめました。参加したのは坪谷中校区の小・中・高生、保護者をはじめ区長、組合長、民生委員のみなさんで約百五十名でした。参加した子供達は、集められた空き缶などやきれいな牧水公園を見て、とても満足げな様子でした。この牧水ふるさとクリーン大作戦できれいになった牧水公園で、ねりんピック短歌大会に参加した人たちがすばらしい思い出をたくさん作って帰られるといいですね。

「いづくにか父の声きこゆこの古き大きな家の秋のゆふべに」この歌は大正元年の秋の作で郷里の父が重体との電報を受け東京から帰郷している頃のもので、幸い父の病状は快方に向っていたのですが上京するにも家庭の事情が許しません。牧水は苦悩の日々を送っていました。この歌は説明はなくともわかりやすい歌です。「古き大きな家」はもちろん生家のことです。医者である父立蔵は生来人間よして酒もかなりいけたようです。医師は近郷でも評判が良かったようです。その父も健康を害して元気がありませんでした。

表紙「牧水のうたの解説

わたなべくにひこ

この頃の父をうたった歌に「わがそばにころぬけたるすがたしてとすれば父の来て居ること多し」もあります。この年の十一月四日、父はついに死去しました。(行年六十八歳)

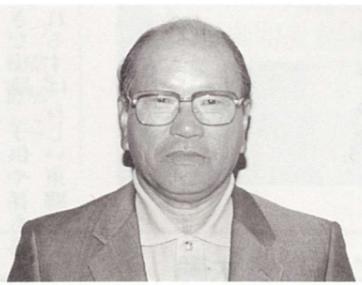
牧水は友人の平賀財蔵宛に父の死を次のように知らせています。「父、本朝十時四十分、終に永眠致し候。まことに急にとかくものいふままもなく、この不孝の児の膝により、眼を瞑ち申候。帰郷中の健司君を迎えて最後の注射をたのみ候。十一月十四日 牧水



また、初七日の過ぎた頃牧水は喜志子宛の手紙に「葬式は村としては極めて盛大であった。(中略)来年の春は父をつれて上京する筈であった。父はそれを非常に楽しみでいたそうである(以下略)」と書いています。また、牧水は「いつもの微笑を失はずに冷たく眠り去った父の顔が眼に浮かぶ」と言っています。

東郷文芸の会会長に三浦園男氏!

今回、東郷文芸の会会長が中田豊氏から三浦園男氏にかわりました。住民の皆さんへ、あいさつ文が届いていますので紹介します。



朝夕の冷え込みと色づき始めた木々の葉に、秋の深まりを感じる今日この頃ですが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

ところで、日頃から東郷文芸の会が刊行している文芸誌「山ざくら」を愛読いただきまことにありがとうございます。実はこの度、東郷文芸の会会長中田豊氏が都合により、会長を辞任することになり、文芸誌の刊行に支障をきたす懸念が生

じたため、関係者でいろいろと協議しました。その結果存続していくことで話し合いがなされ、中田氏の後任として私が推挙されました。今後は、町文化協会の方からも支援していただくことになり、大変心強く、その責任の重さを痛感しているところです。これまで培ってきた前会長の貢献度は大なるものがありますが、これに報いるべく努力し、愛読者の輪を広げていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願ひします。

東郷文芸の会会長 三浦園男



▲東郷文芸の会が刊行している文芸誌「山ざくら」

お知らせ インフォメーション

ご存じですか Sマーク



Sマーク



理容・美容・クリーニング店のSマークは、安心と衛生、確かな技術をお約束する信頼のマークです。事故が発生した場合には、賠償基準に基づいた補償が受けられますので、いつでも安心してご利用いただけます。

- Safety (安全) まかせて安心。
- Sanitation (衛生) 美しく清潔に。
- Standard (標準) 確かな技術。

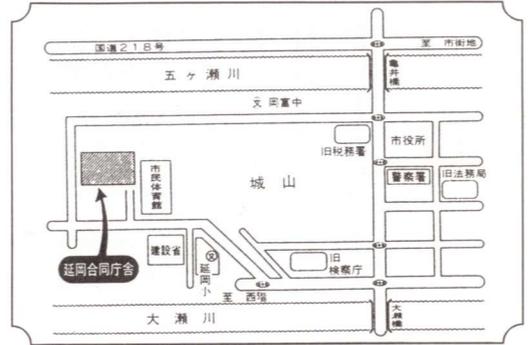
Sマーク登録店なら安心です。

延岡合同庁舎へ移転のお知らせ！

- ・延岡税務署
- ・宮崎地方法務局延岡支局
- ・宮崎地方検察庁延岡支部
- ・九州農政局宮崎統計情報事務所延岡出張所



◇延岡合同庁舎がこの程完成いたしました。つきましては、左記4官庁が新庁舎へ移転しました。



県民手帳予約受付中

1997年用の宮崎県民手帳の購入予約募集]を始めました。お仕事や日常生活に役立つ資料が収録しており、贈り物にも重宝です。大型版・小型版ともに内容は同じです。ぜひご愛用下さい。

☆サイズ

大型判 (14・0 cm×8・4 cm)

小型版 (12・5 cm×8・0 cm)

☆価格 いずれも400円

☆色 カーキ

☆申込先 各組合長、役場企画財政課まで

☆申込期限 12月20日まで

※冊数に限りがあります。お申し込みは、お早めどうぞ。

第42期

自衛隊生徒募集

☆受付期間

平成8年11月1日(金)から平成9年1月4日(土)まで(締切日必着)ただし、平成9年3月中学校卒業予定者の受付及び試験期日については、文部・労働両省から指示された期日以降に実施。

☆採用予定者

陸上自衛隊生徒・・・約250名
海上自衛隊生徒・・・約60名

航空自衛隊生徒・・・約50名
☆応募資格
日本国籍を有し、平成9年4月1日現在15歳以上17歳未満(昭和55年4月2日～昭和57年4月1日生まれの者)の男子で中学卒業業者(平成9年3月卒業見込みの者を含む)。

☆試験日

平成9年1月5日

※詳しいお問い合わせは、宮崎地方連絡部(電話098515312643)

秋の全国火災予防運動

11月9日から15日までの7日間「便利さに 慣れて忘れる 火のこわさ」

心配ごと相談

☆日時 11月19日(火) 9時～15時
☆場所 林業研修館

国民健康保険税 七期

※納期は十月日



忌明けとして、次の方から町社会福祉協議会へ社会福祉のための善意が寄せられました。厚くお礼申し上げます。

(10月5日までに受付した分)

一般寄付

- ◎小野田の岩永マツ子さんから(續さん・73歳逝去)
 - ◎羽坂の寺田晴安さんから(マツエさん・89歳逝去)
 - ◎鶴野内の菊池建一さんから(隆恵さん・80歳逝去)
 - ◎日向市の橋口美昭さんから(ツタエさん・85歳逝去)
 - ◎日向市の倉本富子さんから(黒木ハツさん・85歳逝去)
- 田野の井本岩根さんから快気祝いとして社会福祉協議会へ善意が寄せられました。ありがとうございました。

戸籍だよ

(九月届出分)

出生 おめでと

赤ちゃんの氏名	保護者名	住所
桑原 治世	智春	仲深
小澤 麻衣	征爾	寺迫
川村 拓人	全弘	福瀬

死亡 ご冥福を祈ります

氏名	年齢	住所
岩永 續	73歳	小野田
橋口 ユタエ	85歳	小野田
寺田 マツエ	89歳	羽野
菊池 隆恵	80歳	鶴野内
黒木 ハツ	85歳	迫野内
矢野 ムツエ	66歳	坪谷